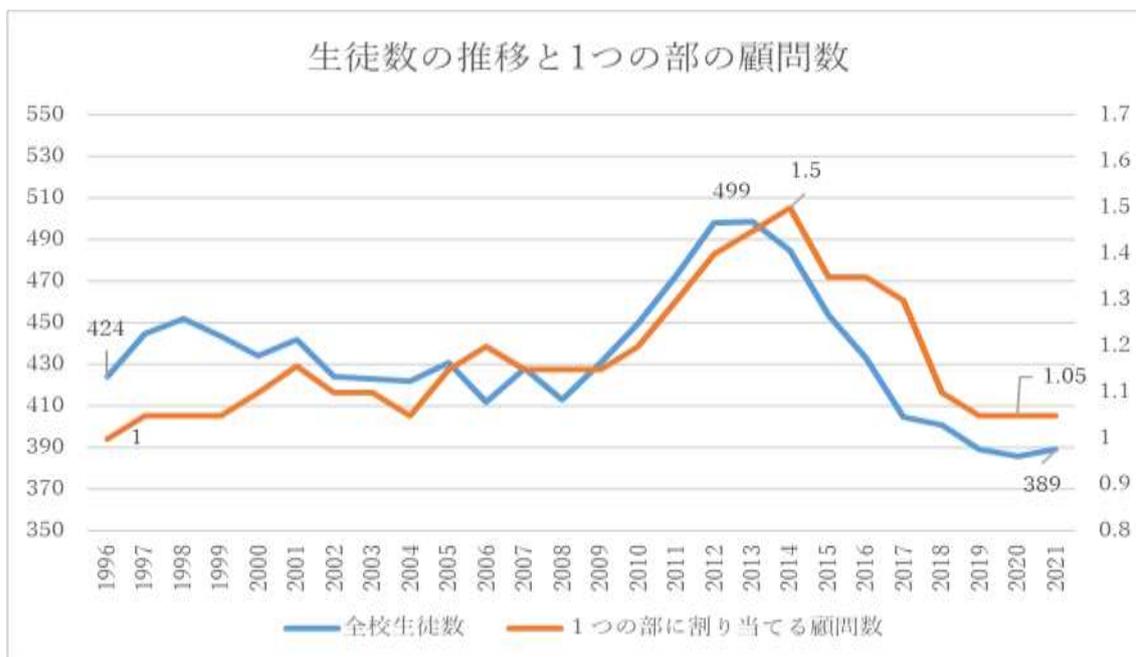




部活動の数を減らします

下のグラフが示すように、2013年の499人をピークに生徒数が減少し続け、現在は390人前後で推移しています。それに伴って配置される教員数（部活動顧問）も減り、最大30人いた教員も現在は21人となっています。しかし、部の数は開校以来変わらず20あり（中総体後は19）、1つの部に割り当てられる顧問の数も減少しています。チームとして大会に出場できない部も複数あり、部活動数の縮減は避けられない状況です。部活動の休部規定には、「運動部は、地区新人戦にチームとして成立できない（人数）場合は、活動を続けるか、転部するかを生徒及び顧問で考え、今後の活動について決定します（活動を続けても、次年度の大会にも出場できない場合は休部となる）。」とあり、現在対象となっている部は2つ、新入生の加入状況によっては新たに対象となる恐れのある部が複数あります。このような不安定な状況を解決することを目的に、令和4年度及び5年度の2年間で部活動数を減らす方向です。「わだち28号」で紹介したアンケート結果でも、7割の生徒が「賛成」や「仕方がない」と回答しており、部長会の意見でもおおむね賛成でした。今後、具体的な進め方を提案し、4月の新入生募集に臨みたいと思います。なお、「校外部」については、様々な条件が整備されていないことを受け、新設を見送りました。これまで通り、校外での活動に専念したいと希望されるご家庭は、部顧問に個別に相談してください。活動状況を確認して許可したいと思います。



<今後の方針（案）>

休部対象となった部は、新入生の新規募集を止め、年度初め又は中総体後に転部の手続きをとる。顧問の教員は、部員数の多い部の副顧問となる。